

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第4323988号
(P4323988)

(45) 発行日 平成21年9月2日 (2009.9.2)

(24) 登録日 平成21年6月12日 (2009.6.12)

(51) Int.Cl.

F I

B 4 2 F 1/02 (2006.01)

B 4 2 F 1/02 K

B 4 2 D 9/00 (2006.01)

B 4 2 D 9/00 A

請求項の数 7 (全 11 頁)

(21) 出願番号 特願2004-74230 (P2004-74230)
 (22) 出願日 平成16年3月16日 (2004.3.16)
 (65) 公開番号 特開2005-262469 (P2005-262469A)
 (43) 公開日 平成17年9月29日 (2005.9.29)
 審査請求日 平成18年10月27日 (2006.10.27)

(73) 特許権者 000110893
 ニチレイマグネット株式会社
 大阪府大阪市城東区今福南3丁目1番51号
 (72) 発明者 前橋 清
 大阪府大阪市城東区今福南3丁目1番51号 ニチレイマグネット株式会社内
 (72) 発明者 高濱 賢史
 大阪府大阪市城東区今福南3丁目1番51号 ニチレイマグネット株式会社内

審査官 榎 俊秋

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 磁石式紙挟みの台紙取り付け構造

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表面部と裏面部とがヒンジ部を介して回動可能に連結されていると共に該表面部と該裏面部とは重なった時に磁気吸着する構成でなる磁石式紙挟みの台紙取り付け構造において、上記台紙は板状で中央部には少なくとも一つの取り付け用切り欠きが形成されており、上記磁石式紙挟みは上記台紙に対して、ヒンジ部が台紙の取り付け用切り欠きに嵌合することにより位置決めされ、さらに表面部と裏面部とを磁気吸着させることにより、介在する台紙の装着部に取り付けられることを特徴とする磁石式紙挟みの台紙取り付け構造

【請求項 2】

上記磁石式紙挟みは、薄板状に形成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の磁石式紙挟みの台紙取り付け構造

【請求項 3】

上記台紙には、複数の取り付け用切り欠きが形成され、各々の取り付け用切り欠きに磁石式紙挟みを取り付けられていることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の磁石式紙挟みの台紙取り付け構造

【請求項 4】

上記台紙は、包装用の台紙であることを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の磁石式紙挟みの台紙取り付け構造

【請求項 5】

上記台紙は、各種のメッセージや情報伝達に用いられるカードやシートであることを特

10

20

徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の磁石式紙挟みの台紙取り付け構造

【請求項 6】

上記台紙は、製本された冊子を構成する各紙片であることを特徴とする請求項 5 に記載の磁石式紙挟みの台紙取り付け構造

【請求項 7】

上記台紙には、全面にイラスト等の絵模様や彩色が施されており、取り付けられる磁石式紙挟みの外面にも、それと同調して一体感を呈する表現がなされていることを特徴とする請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の磁石式紙挟みの台紙取り付け構造

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

10

【0001】

本発明は、包装体としての台紙や各種イラスト等を表現した表示要素の高い台紙への磁石式紙挟みを取り付ける構造に関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来から、小物の物品を所定位置に配置して包装する手段としては、プリスター包装容器が多く用いられており、一例として実公昭 55 - 56141 号公報に示される形態が公知となっている。

この形態で使用する収納カバーは、透明樹脂製で、略中央には収納する商品の外部形状に適合する商品収納部が膨出形成され、両側端縁と下端縁は折り返されてガイド溝ができる状態で押え片と止り片が形成されている。そして、商品収納部に商品を収納した状態の収納カバーの押え片と止り片のガイド溝に、台紙が重ね合わされるように差し込まれることにより、商品は移動できない状態に収納されることになる。

20

なお、それ以外にも、小物の物品を所定位置に配置して包装する手段としては、台紙自体に凹部を形成したり、小物の物品を直接的にゴムひもで弾性保持する構造等が汎用的に用いられている。

【0003】

【特許文献 1】 実公昭 55 - 56141 号公報（1 頁 2 欄 8 行～20 行、図 1～図 3）

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

30

【0004】

しかしながら、特許文献 1 に示される収納カバーは、商品の外部形状に適合するように膨出形成された商品収納部や、両側端縁と下端縁には押え片と止り片が必要なため、高コスト部材となる不都合があった。また、台紙自体に凹部を形成したり、小物の物品を直接的にゴムひもで弾性保持する構造においても、同様に生産コストが高くなる不都合が生じていた。

【0005】

本発明は、商品を磁石式紙挟みとした場合に、これらの不都合を解消し、包装用の台紙に対して、低コストで所定位置に確実に配置することができ、さらに、この技術を包装用の台紙以外の各種イラスト等を表現した表示要素の高い台紙にも応用することができる磁石式紙挟みの台紙取り付け構造を提供することを課題とする。

40

【課題を解決するための手段】

【0006】

本発明は、台紙に取り付ける物品が磁石式紙挟みであると、それ自体が磁気吸着により紙を挟む物品であることから、台紙に対しても、取り付けの際の工夫をすれば、他の部材を使わなくても自力で取り付けができることに着目して成されたものであり、具体的には、表面部と裏面部とがヒンジ部を介して回動可能に連結されていると共に該表面部と該裏面部とは重なった時に磁気吸着する構成でなる磁石式紙挟みの台紙取り付け構造において、上記台紙は板状で中央部には少なくとも一つの取り付け用切り欠きが形成されており、上記磁石式紙挟みは上記台紙に対して、ヒンジ部が台紙の取り付け用切り欠きに嵌

50

合することにより位置決めされ、さらに表面部と裏面部とを磁気吸着させることにより、介在する台紙の装着部に取り付ける構成で実施することができる。

【 0 0 0 7 】

なお、磁石式紙挟みが、薄板状に形成されていると、台紙に取り付けた形態がコンパクトになる利点がある。

【 0 0 0 8 】

また、台紙には、複数の取り付け用切り欠きが形成され、各々の取り付け用切り欠きに磁石式紙挟みを取り付けられる構成としても良く、この場合は、従来の包装と比較した場合に、単品以上にコスト上の利点が生じることになる。また、複数の取り付け品の形態を一度に見ることができる。

10

【 0 0 0 9 】

本発明の台紙は、包装用の台紙として使用するとコスト上の利点が多い。

【 0 0 1 0 】

一方、台紙は、磁石式紙挟みの付加価値を高めるために使用することができる。

具体的には、台紙は各種のメッセージや情報伝達に用いられるカードやシートとすることができ、このような使い方をすると、磁石式紙挟みはメッセージや情報伝達をする際の付加価値を高める部材として活用することができる。

【 0 0 1 1 】

同様に、台紙は、製本された冊子を構成する各紙片として使用しても良く、この場合における磁石式紙挟みは、景品として好ましく使用することができる。勿論、各紙片に表現されている広告等の内容の付加価値を高めるために使用することもできる。

20

【 0 0 1 2 】

さらに、台紙には、全面にイラスト等の絵模様や彩色が施されており、取り付けられる磁石式紙挟みの外面にも、それと同調して一体感を呈する表現がなされていると、磁石式紙挟みは更に付加価値の高いものになる。

【 発明の効果 】

【 0 0 1 3 】

本発明の、磁石式紙挟みの台紙取り付け構造によれば、包装用に用いた場合に、所定の位置に確実に取り付けことができると共にそれに要する包装コストも低減させることができる。

30

また、台紙を各種のメッセージとか情報伝達用のカードやシートにしたり、冊子のページ等として使用することで、磁石式紙挟みの付加価値を高めることもできる。

【 発明を実施するための最良の形態 】

【 0 0 1 4 】

本発明に使用する磁石式紙挟みは、表面部と裏面部とがヒンジ部を介して回動可能に連結されていると共に該表面部と該裏面部とは重なった時に磁気吸着する構成となっており、板状の台紙の中央部に形成された取り付け用切り欠きに、磁石式紙挟みのヒンジ部を嵌合させた状態で表面部と裏面部とを磁気吸着させることにより、磁石式紙挟みを台紙に取り付ける構成であり、以下、実施例により詳細に説明する。

【 実施例 1 】

40

【 0 0 1 5 】

実施例 1 は、磁石式紙挟みを包装用台紙に取り付けて、包装状態に仕上げた場合を示したものである。

図 1 は、実施例 1 に使用する磁石式紙挟みを表わしたものであり、図 1 (a) は下面から見た展開状態の斜視図、図 1 (b) は A 矢視拡大図、図 1 (c) は完成状態の斜視図を示す。

本実施例の磁石式紙挟み 1 は、磁石式のしおりとして使用するものであり、図 1 (b) に示すように、厚さが約 0 . 6 mm で、マグネットシート 2 の上面 2 a 側に装飾層 3 が設けられた構成となっており、外形は図 1 (a) に示すように、幅が約 2 5 mm、長さが約 2 0 0 mm で両端が半円形の帯状に形成されている。また、下面 2 b の中央には凹状の折

50

り込み線 4 が設けられており、この折り込み線 4 の位置がヒンジ部 7 となって、表面部 5 と裏面部 6 とが折り曲げやすくなっている。

【 0 0 1 6 】

マグネットシート 2 は、フェライト系、マンガン・アルミニウム系、サマリウム・コバルト系、ネオジウム・鉄・ホウ素系、サマリウム・鉄・窒素系等の硬質磁性材料からなる磁石材料微粉末を有機高分子エラストマーに練り込み着磁された樹脂製磁石等適宜の磁石が用いられる。

【 0 0 1 7 】

なお、マグネットシート 2 の着磁は、図 2 に示すように折り込み線 4 を堺にして、表面部 5 と裏面部 6 の磁極が異なるように、帯状に多極着磁されており、表面部 5 と裏面部 6 とを折り込み線 4 の位置で折り曲げた時に磁気吸着できるようになっている。但し、着磁方法については、この方法に限られたものではなく、表面部 5 と裏面部 6 とを対向させた時、磁気反撥せずに磁気吸着できる方法を適宜に選択し実施して良い。

【 0 0 1 8 】

装飾層 3 は、紙或は薄いプラスチックシートが用いられ、文字やイラスト等の装飾がなされている。なお、マグネットシート 2 に設けた折り込み線 4 と、その上面に設けられている装飾層 3 とで本実施例のヒンジ部 7 が形成されることになる。

【 0 0 1 9 】

そして、図 1 (a) の状態から、表面部 5 と裏面部 6 とをヒンジ部 7 で折り曲げると図 1 (c) のように表面部 5 と裏面部 6 とは磁気吸着して、磁石式紙挟み 1 が完成する。

なお、本実施例におけるヒンジ性能は、図 1 (c) の状態から表面部 5 と裏面部 6 とを開いた時に、自動的に図 1 (a) の状態に復元しなくても、繰り返しの使用に耐えるものであれば良い。

【 0 0 2 0 】

図 3 (a) は、包装用の台紙 8 を表す斜視図であり、略中央部に切り欠き 9 が形成されている。この切り欠き 9 は、磁石式紙挟み 1 の表面部 5 が挿入可能で、ヒンジ部 7 が収納できる寸法となっている。なお、後述する磁石式紙挟み 1 を取り付けた状態で、台紙 8 の余白部に、商品仕様や商品説明等の表示が印刷されていても良い。

【 0 0 2 1 】

図 3 (b) は、包装袋 10 であり、収納物が見えるように透明或いは半透明の樹脂フィルム製となっており、上端のみが解放され、磁石式紙挟み 1 を取り付けた状態の台紙 8 が出し入れ自在の最小寸法に仕上げられる。

なお、この包装袋 10 にも、適宜の印刷がなされていて良い。

【 0 0 2 2 】

次に、包装状態に仕上げる場合手順を説明する。

先ず、図 4 (a) の取り付け方法を示す断面図に表されるように、磁石式紙挟み 1 の表面部 5 を、台紙 8 の切り欠き 9 を差し込んで、ヒンジ部 7 を嵌合させる。

次に、表面部 5 及び裏面部 6 を矢印の方向に折り曲げると、表面部 5 と裏面部 6 とが磁気吸着することにより、図 4 (b) の斜視図における実線及びに示す破線で示すように、磁石式紙挟み 1 は介在する台紙 8 の装着部 8 a に取り付けられる。

そして、この状態から、想像線で示す包装袋 10 に挿入し、包装袋 10 の解放部を適宜の方法で封じることにより、包装状態に仕上がる。なお、10 a は、図示しない陳列台の突起に、包装を引掛けて陳列するための孔であり、必ずしも必要ではないが、包装後設けるか、包装前に形成しておくが良い。

【 0 0 2 3 】

本発明によれば、この実施例に示すように、磁石式紙挟み 1 の台紙への位置決め及び取り付けが、簡単、かつ、確実に行える。また、包装状態に仕上げるには、汎用形状の包装袋があればよい。従って、従来のブリスター包装容器等の特殊部材は不要で、包装コストを大幅に低減させることができる。

【 実施例 2 】

10

20

30

40

50

【 0 0 2 4 】

また、本発明は、台紙を各種のメッセージとか情報伝達用のカードやシートにしたり、冊子のページ等として使用することで、磁石式紙挟みの付加価値を高めることもできる。

実施例 2 は、磁石式紙挟みを磁石式しおりとして使用し、それを記念品として用いる応用を示したものである。

なお、基本的な構成は、実施例 1 の磁石式紙挟み 1 と同様であるので、異なっている内容のみ説明することとする。

【 0 0 2 5 】

即ち、図 5 (a) に示すように、磁石式しおり 1 1 は、飛行機のイラストが描かれて飛行機の外形をした表面部 1 5 と、その後端を中心線として、反転複写したイラスト及び外形の裏面部 1 6 からなっている。

10

そして、図 5 (b) に示すように、カード状の台紙 1 8 にはフライト記念のメッセージと飛行機が飛ぶ風景のイラストが描かれ、その風景の中に、切り欠き 1 9 が設けられている。なお、この実施例では風景のイラストには、飛行機自体は描かれていないが、描いておいても良い。

この状態で、磁石式しおり 1 1 を、台紙 1 8 の切り欠き 1 9 に差し込んだのち、ヒンジ部 1 7 から表面部 1 5 と裏面部 1 6 とを折り曲げて磁気吸着させると、図 6 に示すように、磁石式しおり 1 1 は、台紙 1 8 にその風景に違和感無く取り付けられることになる。

【 0 0 2 6 】

従って、フライト記念のメッセージには、磁石式しおり 1 1 が記念品として違和感無く取り付けられているので、搭乗者に対する航空会社の感謝の気持ち及び再搭乗の要請の伝達を無理なく行うことができる。このように、磁石式しおり 1 1 に付加価値を付けることにより、販売促進品として活用することができる。

20

【 0 0 2 7 】

図 7 は、実施例 2 の変形例を表したものであり、図 7 (a) は磁石式しおりの正面図、図 7 (b) は磁石式しおりを台紙に取り付け状態の正面図を示す。

この変形例は、台紙 2 8 を二つ折りとしたモーターショーの案内状に応用したものであり、その片面に案内文が記載され、他面に自動車の走る風景が描かれており、自動車の形に型抜きされた磁石式しおり 2 1 が実施例 2 と同様に台紙に取り付けられる。

このように、台紙の形態は各種に変形して使用することができる。

30

【 実施例 3 】

【 0 0 2 8 】

実施例 3 は、台紙に、複数の磁石式しおりを配置する使用例を示すものである。

即ち、図 8 (a) に示すように台紙 3 8 には、動物園の風景とパンダ、ライオン、キリン、象、らくだを描いたイラストが描かれ、そのイラスト近傍に切り欠き 3 9 a , 3 9 b , 3 9 c , 3 9 d , 3 9 e が設けられている。

【 0 0 2 9 】

そして、イラストと同様な動物を表示した磁石式しおり 3 1 a , 3 1 b , 3 1 c , 3 1 d , 3 1 e を取り付けると、図 8 (b) の様な状態に仕上げることもできる。

【 0 0 3 0 】

40

なお、この実施例は、複数の磁石式しおりを配置して取り付けることができることを示すこと以外に、絵合わせ的な使用方法もできることも示しており、幼児用の教材等に応用することもできる。なお、この様な目的で使用する場合は、磁石式紙挟みは、しおりではなく、小型の表示片にしてもよい。

従来から、強磁性体製の台紙に磁石式の表示片を取り付ける技術は公知になっているが、本実施例によれば、強磁性体の台紙でなくても表示片を取り付けることができる。

【 実施例 4 】

【 0 0 3 1 】

台紙は、1 枚ものとして使用する以外にも、図 9 の斜視図に示すように、製本された冊子 4 2 の各ページ 4 8 に応用して使用することができる。この場合は、雑誌等の折り込み

50

景品や、各広告のアピール強化等に用いる磁石式しおり 4 1 を取り付けることができる。

【実施例 5】

【0032】

これまで説明した磁石式紙挟みは、表面部と裏面部とが折り込み線を基準として対象形状となっているが、本発明は非対象形であっても何ら問題なく、実施例 5 としてその一例を示す。

この実施例では、図 10 (a) の展開状態の斜視図、図 10 (b) の折り曲げ状態の斜視図で示すように、磁石式しおり 5 1 の表面部 5 5 の先端部形状と、裏面部 5 6 の先端部形状と異なっている。また、折り込み線 5 4 は中央部が省略されて、孔 5 4 a 付きの突出部 5 4 b が裏面部 5 6 への切り込み 5 4 c により成されている。なお、折り込み線 5 4 は全面に設けても良い。

10

従って、図 10 (b) に示すように、折り曲げ状態では裏面部 5 6 の先端形状が表面部 5 5 から露出し、突出部 5 4 b が上方に突出する。この態様は、前者は図 10 (b) の状態から表面部 5 5 と、裏面部 5 6 とが開きやすく、後者はしおりの実使用時における使用位置が判りやすくなる利点が生じる、なお、折り込み線 5 4 を全面に設けた場合は、突出しないことを選択することも可能である。

【実施例 6】

【0033】

これまでは、薄板状で一体物の磁石式紙挟みを取り付ける構成を説明してきたが、本発明は、ヒンジ構造を持つ磁石式紙挟みであれば、他の構成でも実施することができる。

20

図 1 1 は、実施例 6 を表した斜視図であり、磁石式紙挟み 6 1 は、表面部材 6 5 と裏面部材 6 6 とがヒンジピン 6 7 で回動可能に転結されており、それぞれの内面に磁気吸着可能にマグネットシート 6 5 a , 6 6 a を接着剤等で取り付けした構成となっている。なお、裏面部材 6 6 には、外面にも想像線で示すようにマグネットシート 6 6 b を設ければ、磁石式紙挟み 6 1 を強磁性体物品に磁気吸着させることができる。

【0034】

本発明は、上記各実施例に限ることなく、各種に変形して実施することが可能である。

【産業上の利用可能性】

【0035】

本発明は、メモホルダー、しおり、各種の表示片等の各種の磁石式紙挟みに応用することができる。

30

また、台紙も包装用に限らず実施することが可能であり、販売促進用としても活用することができる。

なお、台紙は板状のものでよいので、包装が簡単となると共に、包装形態がコンパクトであるので、在庫等の収納性が優れたものとなる。

【図面の簡単な説明】

【0036】

【図 1】本発明の実施例 1 の磁石式紙挟みを表わしたものであり、図 1 (a) は下面から見た展開状態の斜視図、図 1 (b) は A 矢視拡大図、図 1 (c) は完成状態の斜視図を示す。

40

【図 2】本発明の実施例 1 におけるマグネットシート 1 の着磁状態を示す斜視図である。

【図 3】本発明の実施例 1 における包装部材を表わし、(a) は台紙の斜視図、(b) は包装袋の斜視図を示す。

【図 4】本発明の実施例 1 における包装手順を示し、(a) は取り付け方法を示す断面図、(b) 包装仕上がり状態の斜視図を示す。

【図 5】本発明の実施例 2 を表わし、(a) は磁石式しおりの正面図、(b) は台紙の正面図を示す。

【図 6】本発明の実施例 2 における完成状態の正面図を示す。

【図 7】本発明の実施例 2 の変形例を表わし、(a) は磁石式しおりの正面図、(b) は磁石式しおりを台紙に取り付け状態の正面図を示す。

50

【図 8】本発明の実施例 3 を表わし、(a) は台紙の正面図、(b) は磁石式しおりを台紙に取り付け状態の正面図を示す。

【図 9】本発明の実施例 4 の斜視図を示す。

【図 10】本発明の実施例 5 における磁石式しおりを表わし、(a) は展開状態の斜視図、(b) は折り曲げ状態の斜視図を示す。

【図 11】本発明の実施例 5 における磁石式紙挟みの斜視図を示す。

【符号の説明】

【 0 0 3 7 】

1、6 1 磁石式紙挟み

2 マグネットシート

3 装飾層

4、5 4 折り込み線

5、1 5、5 5 表面部

6、1 6、5 6 裏面部

7、1 7 ヒンジ部

8、1 8、2 8、3 8 台紙

8 a 装着部

9、1 9、3 9 a、3 9 b、3 9 c、3 9 d、3 9 e 切り欠き

1 0 包装袋

1 0 a 孔

1 1、2 1、3 1 a、3 1 b、3 1 c、3 1 d、3 1 e、4 1、5 1 磁石式しおり

4 2 冊子

4 8 ページ

5 4 a 孔

5 4 b 突出部

5 4 c 切り込み

6 5 表面部材

6 5 a、6 6 a、6 6 b マグネットシート

6 6 裏面部材

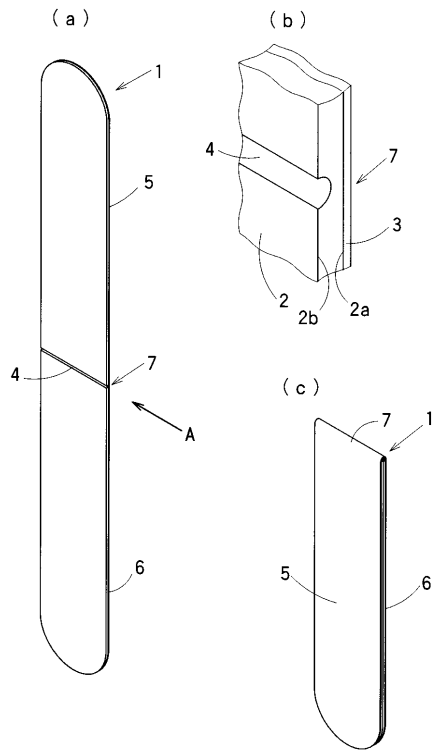
6 7 ヒンジピン

10

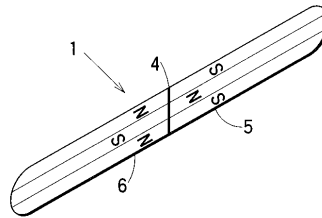
20

30

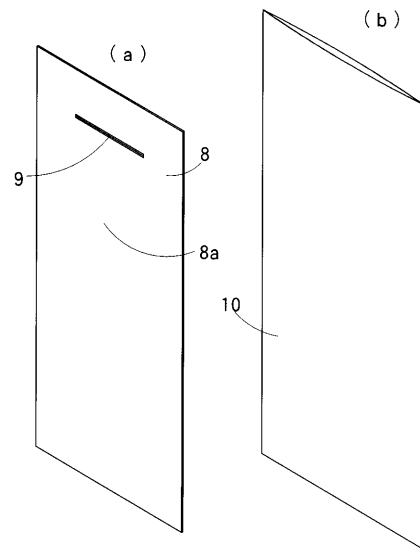
【図 1】



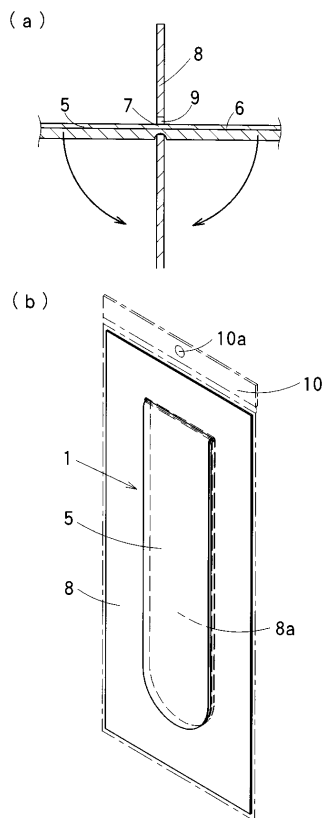
【図 2】



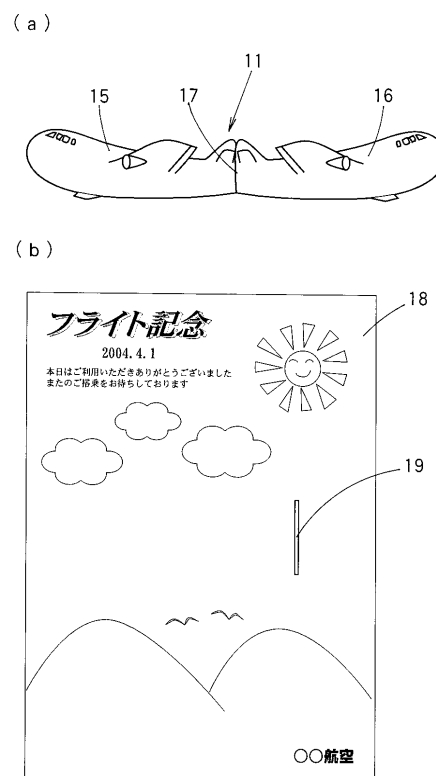
【図 3】



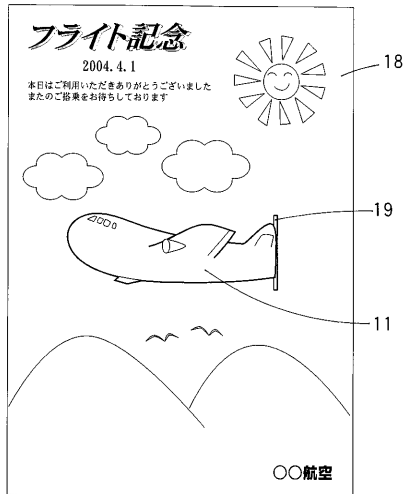
【図 4】



【図 5】

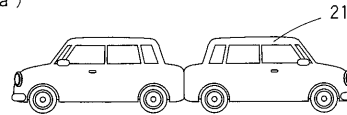


【図 6】

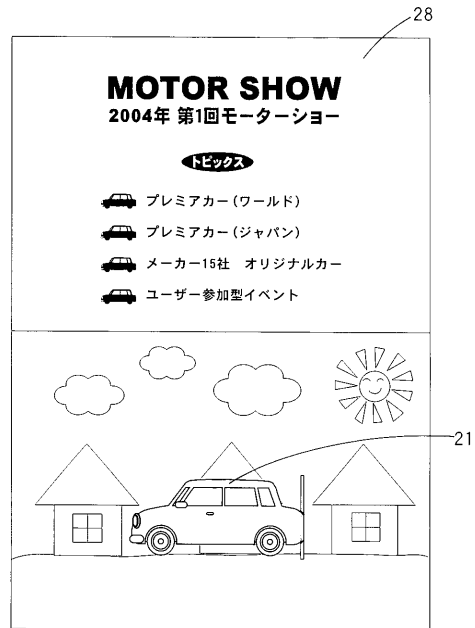


【図 7】

(a)

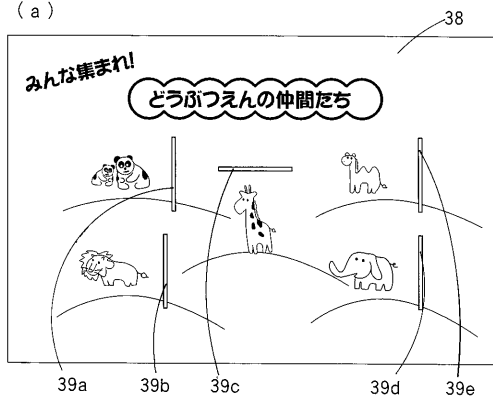


(b)

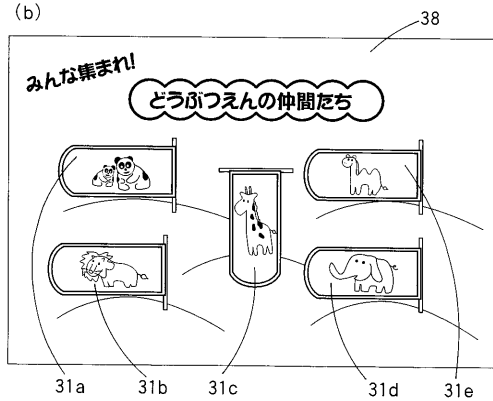


【図 8】

(a)

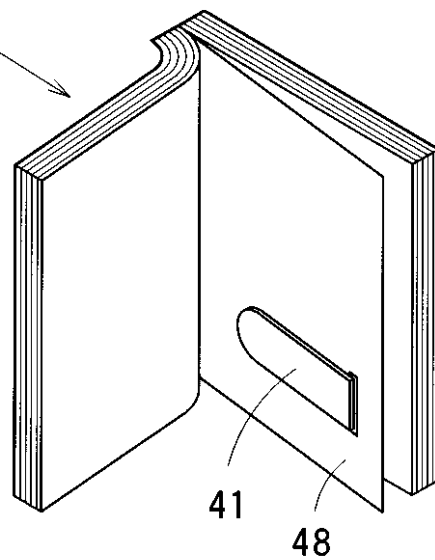


(b)

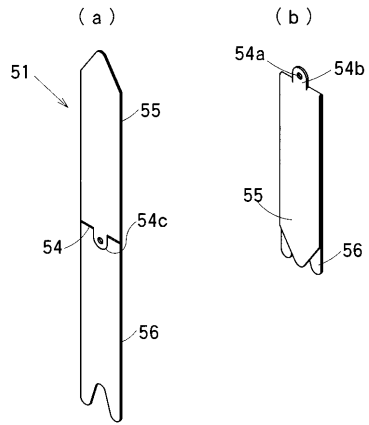


【図 9】

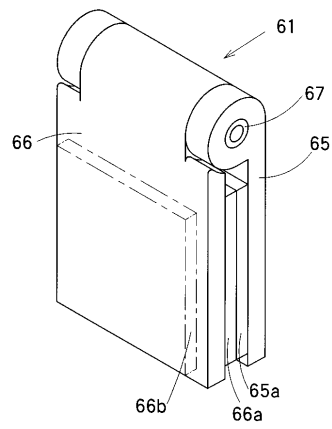
42



【図 10】



【図 11】



フロントページの続き

(56)参考文献 特開昭61-055902(JP,A)
特開2002-293071(JP,A)
実開平07-004324(JP,U)
特開2003-020080(JP,A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
B42F 1/02
B42D 9/00